Ⅱ．注記事項

１．財務諸表全般

記載金額は、千円未満を切り捨てて表示している。

但し、損失の処理に関する書類（案）については、円単位で表示している。

２．貸借対照表関係

⑴　運営費交付金から充当されるべき退職手当の見積額　11,573,174千円

⑵　当期の運営費交付金により財源措置が手当されない引当外賞与見積額　766,011千円

⑶　保証債務の金額　3,532,022千円

⑷　担保に供している資産（土地）　11,074,512千円

上記に対応する債務残高　22,815,924千円

⑸　利益剰余金のうち、法人移行時における固有の会計処理等に起因するもの

①　国からの承継時において、附属病院の建物、構築物等の時価評価等により、借入金見合いの資産の額が、当該借入金に係る債務負担金を下回っていたこと等によるもの

附属病院に関する借入金の元金償還額の累計　7,309,799千円

当該借入金により取得した資産の減価償却費の累計　4,470,569千円

当期総利益に与える影響額（差引き）　2,839,230千円

②　国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等に係る減価償却費見合いの資産見返物品受贈額戻入が二重になっていることによるもの

法人移行時に国から承継した資産見返物品受贈額のうち、対応する資産の減価償却費が診療経費に分類されるものに関する資産見返物品受贈額戻入額の累計　716,537千円

③　国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる未収附属病院収入のうち、国からの出資でなく譲与としたことによるもの　317,656千円

④　国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる医薬品及び診療材料について、国からの出資でなく譲与としたことによるもの　268,311千円

３．損益計算書関係

当期総損失のうち、法人移行時における固有の会計処理等に起因するもの

①　国からの承継時において、附属病院の建物、構築物等の時価評価等により、借入金見合いの資産の額が、当該借入金に係る債務負担額を下回っていたこと等によるもの

附属病院に関する借入金の元金償還額　1,025,666千円

当該借入金により取得した資産の減価償却額　1,276,424千円

当期総損失に与える影響額（差引き）　△ 250,757千円

②　国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等に係る減価償却費見合いの資産見返物品受贈額戻入が二重になっていることによるもの

法人移行時に国から承継した資産見返物品受贈額のうち、対応する資産の減価償却費が診療経費に分類されるものに関する資産見返物品受贈額戻入額　4,169千円

４．キャッシュ・フロー計算書関係

⑴　資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金　7,163,875千円

うち定期預金　1,500,000千円

資金の期末残高　5,663,875千円

⑵　重要な非資金取引

無償譲与による資産の取得　185,236千円

ファイナンスリースによる資産の取得　1,500,072千円

５．国立大学法人等業務実施コスト計算書関係

国又は地方公共団体からの出向職員に係る引当外退職給付増加見積額　54,383千円

６．重要な債務負担行為

当事業年度に契約を締結し、翌期以降に支払いが発生する重要なものは以下のとおりである。

（単位：千円）

契約名称	契約の相手方	契約金額	翌期以降支払金額	
			一年以内	一年超
三重大学医学部附属病院外来・診療棟新営その他工事	株式会社竹中工務店名古屋支店	4,378,500	643,314	3,735,186
三重大学附属図書館改修その他工事	株式会社鴻池組名古屋支店	387,450	296,478	—
三重大学附属図書館改修機械設備工事	オーク設備工業株式会社中部支社	161,700	123,732	—
三重大学医学部附属病院外来・診療棟新営電気設備その他工事	川北電気工業株式会社	969,150	87,223	881,926
三重大学附属図書館改修その他電気設備工事	日本ファシリオ株式会社名古屋支店	103,740	79,380	—
三重大学医学部附属病院外来・診療棟新営機械設備その他工事	新日空・関林特定建設工事共同企業体	1,995,000	39,900	1,955,100
ガスクロマトグラフ質量分析計	株式会社栄屋理化	12,243	12,243	—
合計		8,007,783	1,282,270	6,572,212

７．金融商品の時価等

１．金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については預金、国債、地方債及び政府保証債等に限定し、資金調達については国立大学財務・経営センターからの借入れに限定している。

資金運用にあたっては国立大学法人法第35条が準用する独立行政法人通則法第47条の規定に基づき、公債のみを保有しており株式等は保有していない。また、未収附属病院収入は、債権管理細則に沿ってリスク管理を行っている。

国立大学財務・経営センター債務負担金及び長期借入金の使途は附属病院の整備資金であり、文部科学大臣の事前承認に基づいて借入れを実施している。

２．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりである。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額（＊１）	時価（＊１）	差額（＊１）
⑴　投資有価証券			
満期保有目的の債券	399,951	399,940	△ 11
⑵　長期貸付金	157,200		
返還免除引当金（＊２）	△ 149,830	7,369	—
	7,369		